



みなさん、こんにちは

今年の夏は、気温が高く、湿度の多い日が続き、9月に入っても高温が続きました。収穫を前にした農作物・これから本番を迎える鮭漁も気になります。



震災と原発事故の影響が懸念されていた観光業は、国内の観光客が多かったようです。

まだまだ、東北の被災地はこれからが復興という状況でしょうか。マスコミが報じる情報にも最近は何をかしげるような報道が多く、私たちはこれからますます、情報を見極めて判断する、と言う事が求められる時代になりました。さらに、8月下旬からの台風の被害は、これまで経験したことのない大量の雨で大きな被害が出ました。

自然災害は、私たちの防御が及ばない事もあり、防災という「災いを防ぐ」と言う認識は、「災害から避難する」ことを一番に考えなくてはならないようになりました。

7月の臨時議会で副町長が決まりました。この9月議会では、教育長も新たに決まりました。新体制で動き出す斜里町です。

町がこれから、取り組まなくてはならないことも見えてきました。町の新たな動き、現状、課題など、9月議会を終えて、私からみなさんにお知らせいたします。



9月の議会中も議場はとても暑く、みんなクールビズ・扇子片手でした（汗）

最近では、こうして、他の自治体の議会の活動などが、遅れていたとは言えいろいろ分かるようになりました。



議会活動のいろいろ

それぞれの町の議会の活動の方法（議会の基本的な目的が違うのではなく）は、統一されたものではありません。細かく言えば、きりが無いほど。しかし、議案を審議、質疑、討論という部分では同じです。最近では、これまでのように議場が主な議会活動だけでなく、議場から出て、議会報告会をおこなう自治体も増えていきますし、議会中継などは、ここ2、3年で実施しているところがとても多くなりました。新しい取り組みは、ほとんどが「議会のやっていること、議会の役割を理解してもらうこと」そして「議会への住民参加」が目的だと思います。

なんとか、斜里町議会でも「議会中継の実現」と、一般質問の方法を「一問一答方式」にして行かなくてはならないと私は思っています。

傍聴に来てください・・・と言われても、なかなかその時間は難しいというのが現状です。私も、過去には一度だけ傍聴に行きましたが、一日いるのは難しいです。そのためにも、議会のやりとりが自宅のパソコンや携帯などの端末で見ることができるようになれば・・・と、思います。みなさんは、どう思いますか？

エゾオヤマノリンドウ

以前はこれからの季節、道路沿いにも、フレペの草原にもたくさん咲いていましたが、最近はどうでしょう？鮮やかな青紫には目を惹かれます。

7月27日の臨時議会で副町長が決まり、そして、9月議会で新教育長が決まりました！

副町長・事前に、町長は副町長人事の腹案を持って、議員の所を回り、その説明をされていたようです。もちろん私も、その話を伺いました。(教育長も同様)
阿部副町長は議場での挨拶の中で、斜里町に対する思いと、その斜里町でこうして役職に着くことの誇りと、さらに町政に対し町長の補佐役として、あらためてまちづくりに臨む姿勢を再確認しながらやっていきたいと、少し高揚された口調で話をされました。(挨拶は議会休憩中です)

教育長・今回の議会で新しい教育長も決まりました。(新聞にも出ていましたが)金田教育長の任期満了の退任挨拶も、分かり易く、しっかりと斜里町の教育の課題を示しての振り返りなどを話してくれました。新しい村田教育長の教育に対する考え方も聞くことができました。今、日本が大きく変わる時なのかも知れない、みんなの生きること、学ぶことの変化していくような時代に入っていく時期、ますます教育のあり方が問われる時です。
震災復興など、地方にとっても変化が避けられない中、馬場町長の新体制がスタートです。

9月14日～9月16日の3日間・・9月定例議会が開催されました。

1日目・9月14日 主に(一般質問と全員協議会)

今回は6名の議員の一般質問がありました。特に、新しい議員3名の一般質問に私も注目しました。きっと、一括質問の方法は、慣れなければ(私はいまだに慣れません)大変だと思いますが、防災に関する質問などがありました。私の質問のことは4ページに。

教員住宅建設しますが、民間企業に建ててもらい、それを借りて使う方法でやることの説明と協議
新しい図書館の検討委員会を設置することの説明と協議

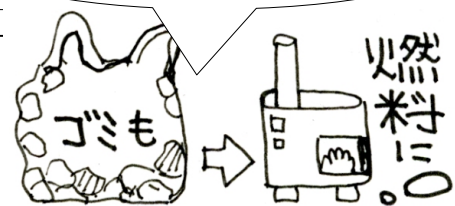
2日目・9月15日 (議案と全員協議会)

午来町長が**名誉町民**・そして、**斜里町非核平和宣言** が決まりました。非核宣言はこれまで制定されてこなかったのが不思議ですが、馬場町長になり制定が決まりました。ずっと、言われてきたことだから、何も今さら・・と言う声もありましたが、私は、今回の宣言をきっかけに、まちづくりの中に核に関する問題を考え、話し合うきっかけに発展させてもらいたいと思いました。

3日目・9月16日

補正予算と教育長人事、その他の人事・意見書など

8月5日に環境審議会のみなさんと現地を見てきました。



●ゴミ処理場のこと(全員協議会で)

現在越川に建設されている処理場は、来年の稼働を目指し着々と工事が進んでいます。この高温高压処理で出てきた生成物(燃料材)が、**国保病院の温水ボイラー**で利用されることになりました。当初、ウトロのホテルでと言う計画もありましたが、国保病院のボイラーの老朽化、そして運搬も近いなどで利用が決まり、来年秋には稼働されます。ゴミ処理上はこれまで町で管理していましたが、今度は民間企業に管理委託されることとなります。

●町の財政の試算は・・これから、厳しいかも知れない・・だから・・(全員協議会で)

これからの町の財政状況を5年後まで試算していく中期財政で、今回の震災の影響で、これから地方交付税が減っていくことも予想され、決して安心な状況ではないという試算が出されました。町のお金の半分以上は**国からの交付金**です。こうした国の財政と併せて町の財政を考えなくてはなりません。できる事、できない事をしっかりと、皆で情報を共有して考えて行かなくてはなりません。だからこそ、これからの町の方向をしっかりと町民に示していくことが大切なことだと思います。

9月議会で話された・決まった・思ったことなど

●防災に関係すること

緊急防災メール配信システムを斜里町でも実施することになり、何かあったら、みなさんの持つ携帯に情報がメールで送信されることになります。斜里町のたとえば防災関係、安全情報、気象情報、そして緊急の時に職員招集などにも使えるように。

私は、この他にも、3月11日の震災で携帯が使えなかったときに役にたった、ツイッターの活用も自治体で積極的に実施すべきだと思います。すでに、使っている人は分かると思いますが、とても便利なもので最近では多くの自治体で情報発信に活用しています。

とにかく、何かあったときには、いろいろな方法で情報を伝えること。サイレン・広報車・携帯・ツイッター・そして「声をかけて広める」ことでしょう。一般質問で久野議員が言うように「逃げるが勝ち！」だと思います。

それぞれの地域で、様々な想定災害に対して考える事、そして訓練をすることは必要です。

- ・メール配信システムに450万円・ストーブや発電機の防災備品に約50万円・避難所看板に200万円
 - ・名誉町民推戴（すいたい）事業費に100万円
 - ・斜里から救急車で網走に搬送される救急体制づくり業務委託に1400万円（これは網走医師会に）
- 他、今回の補正で1億4500万円を追加（中には発掘調査の4000万円などを含みます）しました。

●みなさん、町民還元宿泊券！利用しましょう。

7月28日に販売された宿泊券（3000円を宿泊券に、1000円の商品券が付いてくる）は、まだまだ販売数が残っています。これから、ゆっくりと温泉で宿泊するのに良い季節。様々なプランも打ち出されるそうです。これまでに売れた宿泊券は16%・・・だそうです。（少なすぎ！）

関係団体のこれからのPRに期待しますが、この事業の課題もあるはず。しっかりとした検証も必要です。でも、同時に、みなさんのご利用をお願いします。私は、秋に向けて温泉でのんびり・・・と、道外の友人が来るので一緒に使う予定。

みなさん、宿泊券！

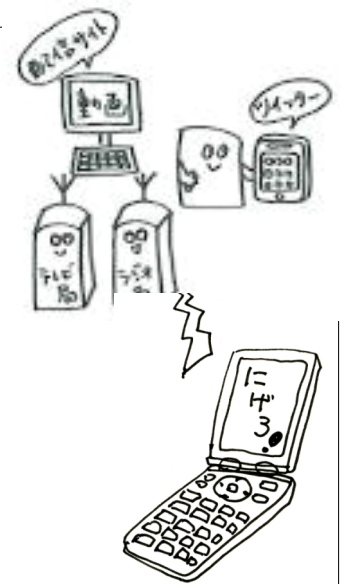
●ウトロの雇用促進住宅のその後

ウトロ地域では公営住宅が足りません。廃止が決定された雇用促進住宅は、現在は新しい入居ができません。平成26年をメドに譲渡される予定です。でも、部屋が空いているのですから入居できるようにならないのかと言う要望が、たくさん出ています（あたりまえですね）。その後、関係団体と打ち合わせをしているとのこと。購入を前提条件にするために何が必要か問い合わせている・・・とのこと。動いてはいるようですがあまりにも時間がかかりすぎだと思います。迅速な対応を再度、求めました。

■ 防災について考える・町の方針についても考えてみました ■

・今回の議会では、防災についての論議がたくさんありました。「海に面した海岸線に防波堤を作るべき」「防災計画の見直しをすべき」など、多くの意見がありました。斜里町では基本的にはハードに大きく依存する対策よりも、より早く、安全に避難する、危険を非難によって回避する方法に力を入れるという方針を出しています。もちろん、ハード面で何もしないというわけではありませんが、基本的に、私は、この考え方に賛成します。

・地域のつながり・・・そのためには、個人情報の考え方、ネットワークの多様性とつながりが大きなキーワードにもなります。この辺を町は整理をしていくことが今後の課題だと思います。



2011年（平成23年）9月議会・桜井の一般質問



1・核に頼らないまちづくりの視点と非核平和宣言

非核平和宣言を制定しました。なぜに今なのかと思いましたが、2011年に宣言を制定する意味を考えました。もちろん、平和に対してしっかりとの方針を持つことは大賛成です。同時に、環境自治体として先頭を歩いてきた斜里町にとって、今回の福島原発の事故は、これからのまちづくりにとって避けることのできない課題となりました。農業、漁業、観光の町として、核にたよらないまちづくりの方向をしっかりと示すべきだと思います。この点について、町長の考えを聞きました。また、今回の非核平和宣言の文章を協議するとき、この非核という部分でどのような協議がおこなわれたのかについても聞きました。

- 「回答」国の方針も見据えて行かなければならないが、自分の考え、斜里町としての方向性もどこかの場で町民に対して説明し、伝えていこうと思っている。

2・地域の特性を考えて へき地保育所の時間延長保育 を実施すべき

農家のお父さん、お母さんたちは、これからもうひとがんばりという時間に（4時に）保育所へ子どもを迎えに行かなくてはなりません。他の町では様々な形で時間延長保育を実施しています。どうして、斜里では要望があるのに取り組まないのでしょうか？

- 「回答」地域の声を、調査して時期的な延長も含め、さらには小学校の統廃合なども関係してくるので検討していきたい。



3・「命のバトン」の取り組みを早く実施して

この「命のバトン」は馬場町長が議員だった時にも質問していたことです。保健福祉、あるいは地域の人、そして国保病院の先生の指導のもと連携して作製することが必要です。

- 「回答」斜里町の地域医療に活かせるように検討し、進めている。

お知らせと・お願いです ●●●● ご意見も お寄せください ●●●●

❖❖私ごとですが・・・❖遠方に嫁いだ娘が初めての出産です。議会もあるので、行くのは難しいと思っていましたが、やはり、初めてのこと。9月20日から10月3日まで、出産介助（特に何を・・・と言う事ではないと思います）が・・・炊事洗濯など）に行って来ることにしました。「議会だより」（広報委員会）の仕事がありますが、原稿など迷惑をかけない範囲で対応したいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。この議会レポートを作ってから・・・と、思い、がんばって作りました。

❖レポートを「もういらぬ」「送らなくていい」と言う方がいらっしゃいましたら、申し訳ありませんがご連絡下さい。❖「読んでみたい」、あるいは「届いていない」と言う方がお近くにいらっしゃいましたら、ご連絡下さい。お送りさせていただきます。
❖「議会レポート」はホームページにも掲載します。HPで読むから・・・送らなくてけっこう、と、言う方もいらっしゃいましたら、ご連絡下さい。メールでもけっこうです。
*ここでお知らせできること以外にもたくさんいろいろなことがあります。どんなことでもけっこうですので、お電話などいただければと思います。
お気軽にどうぞ！



■ ホームページみてください。 <http://akemichan.net/> 桜井あけみ 議会レポート
■ ブログ 「ふつう」の生活から <http://akemiburogu.sblo.jp/> コメントを待っています。
「桜井あけみ後援会」099-4351 斜里町ウトロ香川104 メールは koe@akemichan.net へ